

北九州市新日明かんびん資源化センター
整備・維持管理事業

落札者決定基準

2018年8月

北九州市環境局

目次

第1章 審査方式	1
1 総合評価一般競争入札	1
2 審査の流れ	2
第2章 基礎審査の方法	3
1 基礎審査の項目	3
2 基礎審査の流れ	3
第3章 定量化審査の方法	4
1 定量化審査の基本方針	4
2 評価値の算定	4
3 加算点の得点化方法	4
4 加算点審査項目の配点	4

第1章 審査方式

北九州市新日明かんびん資源化センター整備・維持管理事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、専門的な知識やノウハウ（設計技術力、建設技術力、経営能力等）を有することが不可欠である。このため、落札者の決定に当たっては、価格及びその他の条件（性能、機能、技術等）によって落札者を決定する総合評価落札方式を採用する。

この落札者決定基準は、総合評価落札方式で落札者を決定するにあたり、要求水準書等の内容について入札参加者から提出された提案書を客観的に評価する際の基準を示すものである。

1 総合評価一般競争入札

本事業の入札方法は、次のとおりである。

1-1 入札書類審査

(1) 入札価格の確認

予定価格は設計・建設業務費、維持管理業務委託費のそれぞれについて設定する。

入札書類に記載された入札価格（本市に支払いを求める費用の合計額。）がそれぞれの予定価格を超えていないことを確認する。いずれかの一方であっても、入札価格が予定価格を超えている場合は失格とする。

(2) 提案内容の基礎審査

本市は、提案書に記載された内容が、この落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしているかどうかについて先ず確認する。1項目でも基礎審査項目を満たしていないことが確認された場合は失格とする。

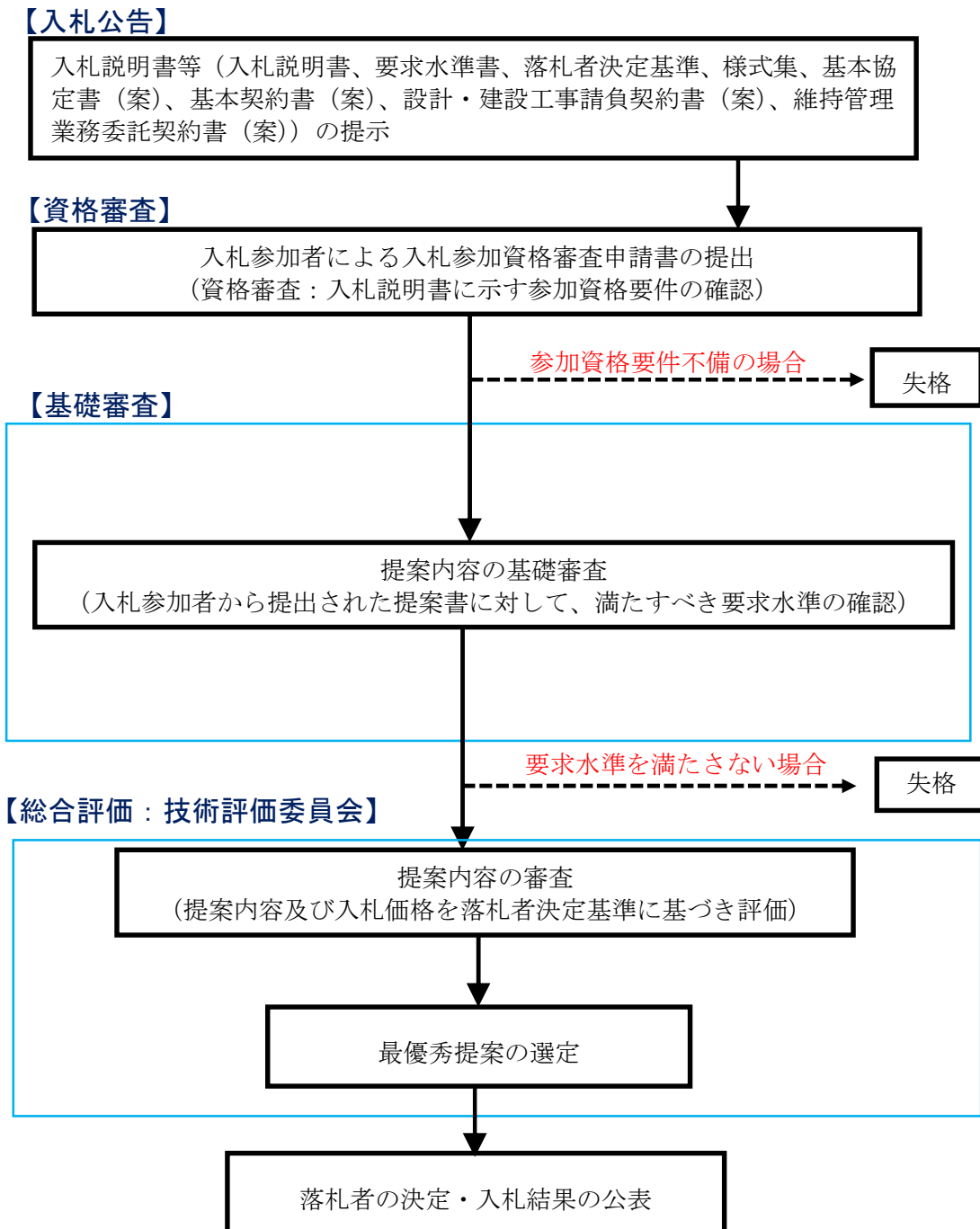
(3) 提案内容の定量化審査

次に、提案書に記載された内容に対して、表1（第3章に掲載）の得点化基準に則り評価する。審査項目ごとに評価の理由を明らかにした上で採点し、北九州市新かんびん資源化センター整備・維持管理事業技術評価委員会（以下「技術評価委員会」という。）の審査を経て、提案書の技術評価点が決定される。

1-2 落札者の決定

本市は、最も高い「評価値」を得た入札参加者を落札者とする。なお、評価値の最も高い入札参加者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を選定する。

2 審査の流れ



第2章 基礎審査の方法

1 基礎審査の項目

提案書に記載された内容が、次の基礎審査項目を満たしているか否かを確認する。

1-1 提案内容の整合性

提案書の内容として、錯綜した提案や提案事項間の矛盾等がないこと。

1-2 提案の構成

提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。

1-3 要求水準の達成

当該提案の内容が要求水準書を満たしていること。

2 基礎審査の流れ

提案書から、全ての基礎審査項目の内容を満たしているか否かを確認する。

1項目でも基礎審査項目を満たさない場合は、失格とする。

基礎審査項目を全て満たしている場合、当該提案書は合格と判定され定量化審査の対象となる。

第3章 定量化審査の方法

1 定量化審査の基本方針

定量化審査による提案書の得点が総合評価の「評価値」の算定に使われるため、表1の得点化基準については、本市が本事業に期待する事項の重要性等を勘案して設定している。

なお、本市は、本事業に対して民間の技術的能力・ノウハウ及び経営能力を活用することで、公共サービス水準の向上とともに、財政負担の削減を図ることを期待している。

2 評価値の算定

入札参加者の「入札価格」と技術評価委員会で審査・決定した提案書の「技術評価点」から「評価値」を算出する。

なお、「評価値」は次の除算方式に基づいて求める。

$$\text{「評価値」} = \frac{\text{技術評価点（標準点+加算点）}}{\text{入札価格}}$$

標準点：基礎審査に合格した提案書に一律100点を付与する。

加算点：審査項目ごとの得点の合計。

入札価格：この場合は、設計建設工事費用と維持管理等費用の合計額。

※評価値は、「入札価格」を億円単位として算出する。なお、算出された評価値は、小数点第5位以下を切捨てる。

3 加算点の得点化方法

（別紙）審査項目と配点で定める評価基準及び配点に基づき得点化する。

なお、最終的な得点は小数第一位までとする。

4 得点化基準

審査項目及びそれぞれの配点は次ページの表1のとおりである。

表1 得点化基準（審査項目の配点）

審査区分		配点	審査項目	審査内容	様式
技術・経営能力	事業者の実績	4	過去の同種事業実績	地方公共団体発注の同種事業（マテリアルリサイクル推進施設）における、元請として竣工した実績件数	6
			ISO等の認証取得	ISO9001、ISO14001、EA21等の認証取得の有無	9
	配置予定技術者の実績		過去の同種事業に従事した実績（配置予定技術者）	過去10年の地方公共団体発注の同種事業（マテリアルリサイクル推進施設）において、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した件数	10
社会貢献	人材育成	1	若手技術者・女性技術者の配置	若手技術者・女性技術者の専任配置の有無。	11
	地元貢献	3	協力企業としての地元企業参加	地元企業の事業への参加（例えば協力企業として）の有無	2-2
地元企業の活用			建設資材・維持管理資材等の地元調達、下請け等の地元からの採用といった、北九州市への貢献につながる提案の有無	12	
技術等提案の内容	周辺環境との調和	6	外観デザイン	立地特性を踏まえての周辺環境との調和が図られた外観デザイン	13
			配置・動線計画	配置・動線計画にみられる先進性（安全性、利便性、機能性を含む）	14
	持続可能な都市のモデル	4	環境学習の推進	3Rに関わる環境学習の場としての施設の整備策	15
			見学者への対応	安心して、多様な見学者の受入を可能とする整備策	16
	公害防止	2	環境負荷の低減	環境負荷低減の具体性	17
	将来計画	2	変動への対応	事業期間にわたる、かん・びん等の収集物の質や量の変動に対する適応策	18
	安定運転	8	耐久性、安全性に優れた施設・設備の設計・建設	トラブルフリーな施設・設備	19
			操業時における施設・設備の維持管理策	安定運転につながる施設・設備の維持管理策	20
	省エネ化	2	省エネ化が図られた低炭素型施設と設備	施設・設備の整備時（操業も考慮）の省エネ対策	21
	災害対策	4	施設の強靱化策	施設の強靱化につながる対策	22
			災害発生時の対応策	災害が発生した時の対応策	23
	資源循環	2	回収資源化物の高品質化	収集物を効率的に処理して、回収される資源化物の品質を高める取組み	24
	作業環境	8	快適な就労環境	就労環境の快適さにつながる対策	25
			作業員の安全対策	施設整備時及び操業時における作業員の安全対策	26
長寿命化	2	長期安定稼働	事業終了を超える期間にわたり施設・設備を安定稼働できるようにする対策	27	
その他の取組み	2	優秀な提案	以上の提案内容に含まれない、例えば市の財政負担低減など、事業期間における有意義な取組み	28	
計		50			